

鳥取県西部広域行政管理組合  
一般廃棄物処理施設用地選定委員会（第1回） 会議録

会議名	鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設用地選定委員会（第1回）
議事日程	<p>日 時 令和3年8月25日（水）午後1時30分から</p> <p>場 所 米子市淀江支所 大会議室</p> <p>日 程</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 管理者あいさつ</li> <li>3 委員及び事務局職員の紹介</li> <li>4 用地選定委員会の設置根拠及び役割等について</li> <li>5 委員長及び副委員長の選任</li> <li>6 正副委員長あいさつ</li> <li>7 諮問</li> <li>8 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）一般廃棄物処理施設用地選定委員会の会議の運営について</li> <li>（2）一般廃棄物処理施設用地選定方針について</li> <li>（3）先進地視察について</li> <li>（4）その他</li> </ol> </li> <li>9 その他</li> <li>10 閉会</li> </ol>
出席者	<p>（委員）</p> <p>青木薫、奥田登、熊谷晴美、高田雪枝、谷口洋二、藤井雄三、星川淑子、門木秀幸、米増俊文</p> <p>（管理者）</p> <p>米子市長 伊木隆司</p> <p>（事務局）</p> <p>事務局長 三上 洋</p> <p>ごみ処理施設整備課長 安野武男</p> <p>ごみ処理施設整備課長補佐 遠藤史章</p> <p>ごみ処理施設整備課長補佐 加藤公教</p> <p>ごみ処理施設整備課長補佐 伏野哲彦</p>
欠席者	（委員）山根淳史
傍聴者	一般4名
公開・非公開	公開
開会	13時30分

会議内容	
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会条例施行規則第4条第3項の規定に基づき、委員総数10名中出席委員8名で、過半数に達していることから会議が成立している旨を報告した。</li> </ul>
管理者	<p><b>2 管理者あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員就任のお礼</li> <li>・専門的視点からの率直な意見、建設候補地の評価のお願い</li> </ul>
事務局	<p><b>3 委員及び事務局の紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員氏名、事務局職員氏名を読み上げ紹介</li> </ul>
事務局	<p><b>4 用地選定委員会の設置根拠及び役割等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地選定委員会条例及び条例施行規則に基づき、委員会の所掌事務、守秘義務等について説明</li> </ul>
事務局	<p><b>5 委員長及び副委員長の選任について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長の選出について、委員より、事務局で案があれば提案いただきたい旨の発言があり、事務局より星川委員を提案し、承認された。</li> <li>・委員長からの指名により、副委員長に門木委員が選出された。 [委員長 星川淑子委員、副委員長 門木秀幸委員]</li> </ul>
委員長 副委員長	<p><b>6 正副委員長あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び副委員長からの就任あいさつ</li> </ul>
事務局	<p><b>7 諮問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設用地の選定について管理者伊木米子市長から星川委員長へ諮問された。</li> <li>・諮問後、所用のため管理者退席</li> </ul>
事務局	<p><b>8 議題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題3として先進地視察を挙げているが、昨日、視察予定先より、新型コロナウイルス感染対策に係るまん延等防止措置が発出されたため、視察受け入れを中止するとの連絡があった。また、その他の施設においても、現状受け入れ先がない状況であり、議題3は削除する。</li> </ul>

	<p>(1) 一般廃棄物処理施設用地選定委員会の会議の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一般廃棄物処理施設用地選定委員会の会議の運営について（資料1）」に基づき事務局より説明</li> </ul> <p>[質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・原案のとおり決定</li> </ul>
委員長	<p>(2) 一般廃棄物処理施設用地選定方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一般廃棄物処理施設整備基本構想概要版（資料3）」、「一般廃棄物処理施設用地選定方針（資料4）」に基づき事務局より説明</li> </ul> <p>[質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3基本構想は、既にパブリックコメントが実施され、既定のものと考えてよいか。また、資料4用地選定方針には、候補地抽出条件、候補地抽出エリアの項目で、「抽出」という言葉が使われており、西部広域の構成市町村に候補地の選定を依頼するための条件を定めているということによいか。</li> <li>・それを今回委員会で決めることになるが、その後、抽出条件を基に構成市町村から抽出された用地を評価し、その中から最適地を選定していくという方針も含めて委員会で決めていく。</li> <li>・さらに、選定基準において、その評価作業を進めていくということになると思うが、そのような流れによいか。</li> </ul>
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおり。</li> <li>・今回は、まずは抽出条件について具体的な協議を行い、評価基準の作成については、今後資料に基づいて協議していくことになるが、今回は流れと大きな選定方針について確認を行う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の4ページの施設規模について、1日当たりの施設規模(トン数)は稼働日数を365日としたときの1日当たりの処理量か。</li> </ul>
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働日数は280日としている。</li> <li>・例えば可燃ごみでは、250トン×280日で70,000トン程になるが、予定されている予測値が57,000トンというレベルの排出量で、計画処理量が70,000トンとすると安全率はそんなにないと思うがどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2基本構想本編の80ページ、可燃ごみの量は約55,000トン、残渣物が約1,600トン、それに災害廃棄物約5,700トン計62,717トンとしている。施設規模は、62,717トンを365日で割り、実稼働率0.767、調整稼働率0.96を用いて算出した。これは、ごみ処理施設整備の計画・設計要領に基づくものである。</li> </ul>

鳥取県西部広域行政管理組合  
一般廃棄物処理施設用地選定委員会（第1回） 会議録

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の5ページ、「施設から300メートル以内に学校、病院、住宅群がないこと」の300メートルは、最近の施設の平均値から出したとのことだが、組合が先進地とする今治はもっと近い。300メートルが平均になるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の自治体の例として、非常に多くの自治体が300メートルを抽出条件あるいは評価の条件としており、本組合においてもこれを条件とした。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今治を先進地として選ばれているが、今治は何故そんなに近くても大丈夫なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1段階として構成市町村から建設できそうな場所を選んでいただく目安として設定したのが抽出条件であり、学校、病院、住宅群から300メートル離れていることとしている。その基準で抽出された候補地について、委員会で定める評価基準に基づき評価したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体に候補地抽出の依頼を行い、300メートルの距離ではなかなかないというような場合に、300メートルより近くする、基準を変えるというようなことはないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・300メートルというのは国が示す計画標準で、他団体でもこの基準に基づいて抽出作業を進めているので、本組合もこれに倣った形でやっていきたい。市町村の方から、抽出段階で相談があれば、市町村へ抽出の支援を行うことも考えている。取り敢えずは、この抽出基準でやっていきたいと考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の質問の意図は、可能な状況であれば、300メートル以内という条件を最初からかけずに、もう少し緩くしたら候補地の幅が広がるのではないかということ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それもあるが、人口重心の問題から言うと、候補地は米子市周辺に限られる。人口重心を重視すると、この基準で簡単に抽出できるのかと思った。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今治市がどういう形で、距離感で建設に至ったかは現状把握できていない。西部広域の作業としては、それぞれの市町村が状況を一番知っておられるので、一定の条件の中で抽出していただく手法をとらせていただく。一定の条件の中で、300メートルの要件については、9市町村の課長会、副市町村町会、市町村長の会の3段階で検討いただき了解を得たものであり、市町村で検討され、候補地を抽出していただけたと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと定める基準というものではなく、あくまでも一つの目安と数値だと理解すればよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういうことである。</li> </ul>

鳥取県西部広域行政管理組合  
一般廃棄物処理施設用地選定委員会（第1回） 会議録

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この表を見て、市町村に示されるのはこれだけではないと思うが、例えば環境保全のところ、住宅群とはどういう定義か。また、防災では基本的に地震のみが想定されているが、大雨、原発災害もありうる。先程の説明では、総合的な避難施設も含んだり、色んなものも総合的に含んでいるという計画だと思うが、そうであれば洪水が起こるところに立地してはだめだし、島根原発で何かあったときに30キロメートルが一つの目安になると思うが、30キロメートル圏内に入っているようではあまりよろしいとは言えないし、他も加味すべきであるのに防災では何故、地震だけなのか、少し疑問である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず住宅群の定義だが、具体的な戸数は決めておらず、住宅団地や住宅が集合したような地域を想定している。防災については、断層以外にも大雨、地崩れ等の地域が危険であるが、まず抽出の段階で断層の直上でないこととしたのは、断層の真上は施設の損壊の影響が大きいことから、まずこれを外そうというところである。近年のゲリラ豪雨により、各地で被害が起きているため、調査の段階で地域を調べ、対応の可否等を詳しく調べていくこととしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22ページの図表13防災図だが、河川区域とか地滑り区域とか色々書いてあるが、浸水区域が入っていない。浸水する可能性が極めて高いところでも公共施設を建てても良い、法律的には何の縛りも無いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水防法におけるハザードマップで、例えば米子市の場合では、氾濫が起きると場所によって高さかなり異なるため、浸水の高いエリアは外していくものと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ページのごみ処理施設の比較について、ごみ袋の収入はごみ処理コストのどこかに反映されているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋収入は、施設の運転経費についての財源になるものであるが、ここに掲げているコスト（収集運搬費、施設整備費、維持管理費）の中には反映していない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅群云々という話の中で、人口が2万人位減ると、圏域のどの辺りが減っていくのか、そんな予測はないか。分かった時点で教えていただきたいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しい資料は、次回お示したいと考えているが、人口推計では、圏域全体で10パーセント減を見込んでいるが、市町村により減少率はまちまちである。例えば米子市では4パーセント減、日吉津はプラス2パーセントとなっている。大きく下がっているのが日野郡3町で、40パーセントを上回る減少であり、最大で日野町が45パーセント減になっている。米子市では4パーセントの人口減少であり、将来的な人口、住宅事情の変化は、人口重心である米子市においては比較的少ないと考えて</li> </ul>

委員	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想本編の115ページの最終処分場の整備概要を見ると、主灰・飛灰を埋め立てる場合は63,000㎡は必要だと、一方で、主灰・飛灰を埋め立てない場合は23,100㎡は必要だろうという基本構想になっているが、今回の選定方針では数値が変わっていて、選定方針の16ページでは、主灰・飛灰を埋め立てた場合で35,000㎡、埋め立てない場合で12,000㎡と少なくなっている。これはどのような計算となっているのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>また、選定方針の16ページ目を見ると主灰・飛灰を埋め立てるのか、リサイクルに回すのか、未定ということだが、その時に選定方針で主灰・飛灰を埋め立てる前提で35,000㎡を抽出要件とすると、それよりも土地が狭いが適している場所をみな排除してしまうことになるが、本来では、12,000㎡以上で抽出をして、主灰・飛灰の扱いをどうするのかが決まってから、さらにもう1回、抽出する作業をするべきかと思う。主灰・飛灰の扱いが決まりそうな方向性が見えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>主灰・飛灰の埋め立てとか埋立物の見通しについては、現状としては不透明の状況である。スケジュールが非常にタイトであり、埋立対象物、主灰・飛灰の扱い等をしっかり議論して、候補地を選定していくことが当然かもしれないが、最大の有効面積で用地を抽出し、埋立対象物等の検討と併せて場所を決めていく。候補地の抽出を優先していく中で、スケジュールを勘案しながら、このような対応とした。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の説明では、12,000㎡から35,000㎡までを排除しなければならないという根拠としては、今ひとつしっかりとしていないと思う。35,000㎡で探し出して、作ったのが10,000㎡だとしたら、何でそんな事になったのか、私が住民だったらそう思う。スケジュール的な事もあるでしょうが、より良い用地を探すというのであれば、今の段階で12,000㎡から35,000㎡の間を排除する理由がないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>もう一つ付け加えたいが、主灰・飛灰をどう使うかというのは、コストの問題に繋がると思うので、私は、主灰・飛灰を無理にリサイクルしなければならないという問題もあるかと思う。経済性のことも考えて、用地を選ぶのと、何をリサイクルして、何を処分するのかワンセットで進めていかないと、同時に議論しないと決まらないと思う。リサイクルすればいいというものではないという面があるので、そこは考えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終処分場について、選ばれた建設場所が、地元の農業利水の状況、公共下水の状況等を加味して、主灰・飛灰の埋め立てが可能な場所なのか、</li> </ul>

委員	<p>あるいは、リサイクルの方法もしくは埋め立ての方法というのを検討していかなくてはいけない。最初から、リサイクルをします、埋め立てをしますということで用地を決めると、住民との協議により主灰・飛灰の埋め立てができないということも考えられるので、今の段階では最大の面積で探して、選んだ土地に対してどのような処理ができるのかを検討していくことが最も合理的でないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうすると主灰・飛灰を全く埋められない土地であった場合には、また別の土地を選定するということになるのか。複数の土地を選定しておいて、そこに埋められるかを考えた上で、次の候補地も使うような感じで選定されるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれた土地に対して、コスト的に過大でなく、高性能の水処理施設を設置すれば主灰・飛灰を埋め立てもいいとか、地元の意向で、主灰・飛灰の埋め立てはいけないということになれば、不燃系のものしか埋め立てれないという状況が想定される。その辺は、立地、地元、コストなどの状況によって埋立対象物を検討していくことになると思う。</li> </ul>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは、25ページのフロー図のどの辺に当たるのか。</li> <li>・フロー図は用地選定時のものであり該当しないが、建設用地の地元協議において検討が必要。施設の整備内容は、令和5年度着手予定の施設基本設計において検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・候補地が何個かあって、1位、2位、3位と順位が着いて、1位が埋められなかったら2位に、2位がだめなら3位に行くというように動いていくと考えればいいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの用地に対し、立地面、コスト面等の検討を進めるということである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処分場に飛灰が埋めれるとか、不燃残渣しか埋めれないという発想は基本的にはないと思う。基本的には管理型の処分場というのは、かなり厳格に管理されているので、飛灰を埋めたら危ないとかは言えない。言ってはいけない。なので、この処分場であれば、処分場の法律を守っていけば安全に埋めれる。そこは間違えてはいけない。主灰・飛灰は、県外でリサイクルされているという状況でよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にはセメント原料にリサイクルされている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルのルートは途切れることがあるかもしれないので、セーフティネットという意味では、リサイクルが止まってしまっても埋め立て処分が確保できるように当面35,000㎡の面積を確保しましょう、という説明の方がよいかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それも一つの要因であり、もし、セメント原料化の民間業者が受け取らないということになると、埋め立て処分しなければならない。できれば</li> </ul>

事務局	その辺りを考慮した用地確保が望ましいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>主灰・飛灰の説明をさせていただくと、主灰は、可燃ごみ処理施設からごみを焼却したときに残る灰であり、飛灰はバグフィルターで捕捉される粉塵である。</li> <li>選定方針の28ページ2次調査の段階で、4の③の「余熱利用については先進自治体の事例を踏まえて検討する」ということで、温水プール等の利用を考えているということであるが、例えば周辺の事業所や工場とかで熱水を利用できるような、今、エネルギーの回収率が2割位だが、それよりもっと上げられるように、そういう意味で、経済性のところに、地域の工場や事業場で熱処理が有効にできるところがあれば、優先的に評価する項目を一つ設けてもいいかと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価の方法については、次回からこの委員会で検討するというスケジュールになっている。</li> </ul>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定方針は今日確定されるという理解でいいか。</li> <li>選定方針の取扱いについて、先程説明した基本構想、用地選定方針については、組合の首長の会議の段階で一応は決定している。ただ、委員会の所掌事務に係る部分について、例えば当委員会の開催スケジュール等の部分については、日程的にこういう工夫をしてほしいとか、ご意見があれば、そこは変更させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針については既定のものであり、さらに、ここの段階での評価基準等についてはこの委員会で今後協議ということ。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地選定方針で掲げている評価基準等は、案で示したもの。具体的な検討については、次回、第2回の中で事務局が準備した評価基準案を提示し、例えばこういう評価を加えた方がいいとか、その様なご意見等をいただき、それを第2回、第3回と進めていく流れである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>流れのところを見ると、用地選定方針を委員会に提出して、選定委員会が了承するという矢印が書いてあるので、今回、了承があるのかと思った。そうではなくて、もう決まっているということ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終処分場の整備方法として海面埋め立てもあると思うが、このことをお聞きしたい。また、視察は中止となったが、鳥取県内で代わりはないのか、鳥取中部にはいいところがあるとのことであり見てみたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠方の視察はコロナの関係で中止となったが、鳥取県内、河原、中部にも処理施設があるので、視察の候補にどうかというご意見ですね。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>海面埋め立てについては、他の事例を見ると、小さい規模でも非常にコストがかかる。大阪湾とか東京湾などの何百万立米を埋め立てるような施設はコスト的に採算が取れると思うが、本圏域では割高になるので検討していない。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察の件について、鳥取県内では、東部広域が可燃ごみ処理施設を建設中である。また、中部広域については、海岸沿いにオープン型の最終処分場がある。県内施設について、事務局の方で検討する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先程、質問のあった最終処分場面積に係る基本構想と用地選定方針の違いの件について、用地選定方針16ページの図表11の従来型の二つ目の区分が35,000㎡となっているが、資料2の基本構想115ページには、同じケースで63,000㎡となっている。63,000㎡の値は、114ページの図表7、埋立ケース②の処分場面積が21,000㎡となっており、この面積に、防災調整池、水処理施設等を考慮し3倍したものである。一方で、用地選定方針16ページの35,000㎡というのは、そういう積算ではなくて、埋立地が26,000㎡、浸出水の処理施設が3,000㎡、これに植栽等を加えたものとなっている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「先進地事例について（資料5）」により説明 [質疑]</li> <li>・先進地視察に代わる勉強会等の取扱いについては、今、ご検討をいただいているが、今日の資料の施設について、もう少し詳しい情報が知りたいとか、ご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察に行けなくなったということであるが、ぜひ見てほしい、そこで学んでほしいというものがあつたと思う。例えばネットで、映像で、生でやり取りができないものかと思う。そういう時間が取れば、行けないけれども、その情報を得たり質問ができたりできるのでないか。検討いただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の16ページをご覧いただきたい。私どもが先進地視察をぜひやりたいと考えた一番の目的は、最新のごみ処理施設がどのように変わってきたかということ。市街地近郊に、住宅地に非常に近いところに建っているということで、施設のイメージも変わり、評価基準の検討をさせていただくにあたって、参考になる施設ということで計画をさせていただいたところ。県内施設も見てみたいという意見もあり、また、視察に行くことができなければ、オンライン等を活用というご意見もあつたので、検討させていただきながら、実施についてアンケートのような形で委員の皆さんがどういうものを希望されるのか意見集約をさせていただきたいと思う。</li> </ul> <p>ただし、実際に現地に視察に行くということになると、第2回に予定している評価基準の検討と分けて開催する必要が出てくるのではないかと委員長からもアドバイスをいただいている。視察に出る場合は日程のやりくりをしなければならぬが、例えば9月の下旬頃に視察に出て、</p>

	<p>10月の中旬から下旬位にかけて委員会を開催させていただき、評価基準について検討をいただき、分けて対応が必要となってくると思っている。その辺を委員の皆さんにも考えていただき、事務局としてどういった対応ができるのか、受け入れをしていただけるのか、先進施設とオンライン等の対応ができるのか、そのあたりを確認させていただきながら、意見集約をさせていただきたい。他の委員からもご希望があれば、お聞かせいただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>弓ヶ浜での立地を考えると、中部に大きな処分場があるので詳しい資料があればいいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進施設の勉強会とか、実際に行く、県外の視察は難しいとは思いますが、県内施設の色々な情報を知るということは随時検討をしていただき、機会を色々な形で作っていただければと思うので、事務局の方でお願いしてよろしいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終的に委員の皆さんにお知らせする際には、委員長と相談をさせていただいて、対応したいと思う。</li> </ul>
	<p>(3) 先進地視察は削除</p>
	<p><b>9 その他</b></p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後にその他に関する何かあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回の委員会の公開・非公開について、先進地視察については今後検討ということで確定していないので、事務局の方で第2回委員会の内容について整理したうえで、お諮りしたいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮に第2回が座学となれば、評価基準の検討も含め、非公開情報に該当しないので、それを踏まえて委員会でご判断をいただきたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今、ここで決めたいと思う。それでは、先進地視察については未確定だが、次回第2回は評価基準の検討に入る場合、その内容については非公開情報に該当するものはないという説明があったので、特に委員の皆さんからご意見がなければ、事前に公開と決定したいと思うがよいか。</li> </ul>
	<p>「異議なし」</p>
一同 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは第2回の委員会は公開とする。</li> </ul>
	<p><b>10 閉会</b></p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>以上で、鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設用地選定委員会第1回を閉会する。</li> </ul>
閉会	<p>16時23分</p>